

令和4年度普及活動アルバム

北信農業農村支援センター

北信地域は長野県の最北端に位置し、管内の一部は日本有数の豪雪地帯となっておりますが、地域の特徴を活かした先進的な農業が展開されており、水稻、果樹、きのこ類は全国をリードする産地となっております。

令和4年度は大雪による春先の残雪や7月上旬から10月上旬までの高温や多雨などがあり天候不順に悩まされた1年でした。また、ここ数年は新型コロナウイルス感染症により活動が制限されていましたが、令和4年度は後半から集合形式による講習会や研修会が徐々に実施できる様になりました。

重点活動は生産量が増加しているぶどうの「シャインマスカット」を取り上げました。

また、管内は45歳未満の新規就農者が多く（令和4年は37名）、青年農業者の育成を主とした「北信州農業道場」では、地域からの要望が高い果樹（ぶどう）と野菜（きゅうり、アスパラガス）について品目別のコースを開講するなど、新規就農者をはじめ多くの農業者に受講していただきました。農業道場の受講者は、今後、農業だけにとどまらず、地域振興の担い手としても活躍することが期待されます。



【5月~12月】

「北信州農業道場」各講座に加え、
激励会、交流会を開催

新規就農者を主な対象として基本的な知識や技術力を養成し、就農を支援するための講座を開催。

- ・「果樹コース」（ぶどう）
受講生 32名（修了 23名）
- ・「野菜コース」（きゅうり）
受講生 8名（修了 3名）
- ・「野菜コース」（アスパラガス）
受講生 7名（修了 5名）

農業全般の基本的な知識の習得を目的に以下の選択講座を開催。

- ・「農業機械」「マーケティング」「安心・安全」「農業簿記」の4コース
受講生 延べ 83名

新規就農者激励会を8月に開催し、新規就農者20名が参加、意欲ある先輩方の事例発表が刺激になった様子でした。

地域の青年農業者と農業士等関係団体が一堂に会した交流会を12月に開催。参加者約40名。

農業青年クラブによる意見発表・課題解決発表が行われました。





【4月】 シャクヤクの 凍霜害対策の検討

凍霜害対策として、トンネル被覆及びろうそくによる小規模燃焼試験を実施した。慣行区は最低気温が -3.2°C であったのに対し被覆のみの区は -1.8°C 。被覆してろうそくで燃焼させた区は $-0.6\sim-1.0^{\circ}\text{C}$ となり、保温効果が得られた。設置や対策準備作業は容易でした。

収量についても収穫基準に近い切り花本数が確保できました。



【5月】 アスパラガス柵板式高畝栽培

アスパラガスの生産安定を目的とした様々な試験ほが管内には設置されています。試験場の現地試験として実施した柵板式高畝栽培は春どりの萌芽は慣行の平畝に比べて早まり、収量が増加しています。排水対策による病害の発生抑制効果も期待されています。



【6月】 「開花異常症発生軽減対策技術の検討」(重点活動:シャインマスカットの好適樹相への誘導と省力化による安定生産)

生産量が増加しているぶどう「シャインマスカット」の生産安定のため、優良園の実態調査や省力化技術、開花異常症対策の検討を行っています。JA等と協力して開花期の園地調査や障害発生調査などを実施しています。



**【7月】
「牛乳・乳製品利用料理講習会」の
開催支援（農村生活マイスター協会
下水内支部）**

牛乳・乳製品料理の普及と需要の拡大を目的とし、農村生活マイスター協会下水内支部では「大根の牛乳漬け」や「牛乳とゴーヤのジュース」など4品のメニューの調理講習会を実施しました。斬新な発想と簡単に調理できることが、好評でした。



**【8月】
「農業士協会北信ブロック研修会」
の開催支援（農業士協会下高井支
部）**

北信地区には農業士協会の3支部があり、今回の研修会は下高井支部が主催となり研修会を実施しました。先輩農業者の農産物の冷凍加工施設や地域資源である「雪」を利用した貯蔵施設を視察しました。



**【8月】
「北信州農村女性のつどい」の開催
支援**

新型コロナウイルス感染症により3年ぶりの開催となりました。移住して農業にかかわっている方の事例発表や食育等の活動発表を行いました。

参加者の制限やフリーマーケットの中止など例年通りの開催とはならない一面もありましたが、再開を喜ぶ声が多く聴かれました。



**【12～3月】
冬期の二ホンジカ対策の試験及び検討**

野生鳥獣による農作物の被害額は減少傾向ですが、近年では冬期に二ホンジカによる果樹の樹体被害が発生するなど新たな課題が出ています。

積雪地での冬期間の二ホンジカ対策として様々な試験ほを設置して、効果について検証を行いました。



**【12～1月】
「人・農地プラン」地域での話し合い**

管内6市町村の多くの地域では12～1月を中心に地域単位で地域計画策定に向けた取り組みが行われました。グループワークによる話し合いを行うなどして、地域の将来について意見を出し合い、考えを深めていくことができた地域が多くありました。



**【2月】
「地域食文化の伝承のための講習会」支援**

「農村女性ネットワークたかやしろ」では地域の食文化を学び、次世代へ伝承していくことを目的に「おやき」などの伝統食や地域の伝統野菜の「ぼたんこしょう」、地域特産品の「りんご」や「アスパラガス」を使った調理講習会を行っています。2月は味噌づくりの講習会を行いました。